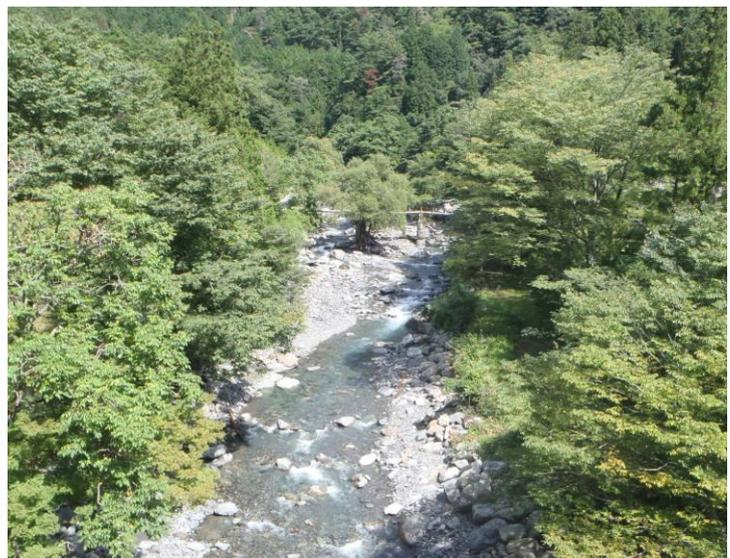
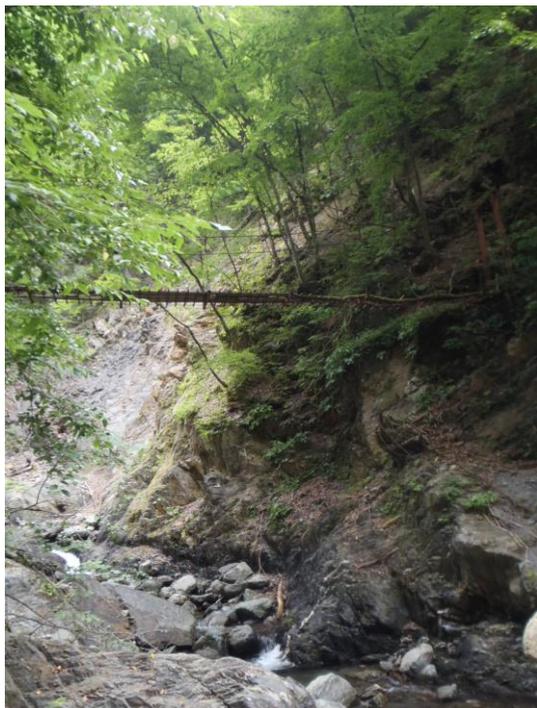


名 称	保川溪谷景観保存地区
場 所	南巨摩郡早川町保
所有区分	県有地、民有地
面 積	69.87ha
標 高	450～1,100m
指定年月	昭和 48 年 12 月 15 日

指定理由

保川は、策ヶ岳を源とする早川の支流で、糸魚川－静岡構造線の西側にあたり、砂岩、頁岩、粘板岩を主体とする海成層からなる溪谷である。谷の切れ込みは極めて深く、水量も多く、三本ネジリ滝、千丁淵などの滝や淵が各所に見られ、ところどころに色彩豊かな巨岩が見られる。

この地域は、比較的温暖な気候のため、イワナンテン、ヒメシヤラ、アラカシなどの西日本に多い暖地性植物が生育し、イロハカエデ、イタヤカエデ、カツラなど紅葉の美しい樹木が多く、岩壁にはイワユキノシタ、イワタバコ、イワヒバやコケ類が着生し、優れた溪谷美を誇る景観地域である。



撮影日：平成 26 年 7 月 31 日